

新潟青陵学会
第17回学術集会



子育てと介護のダブルケア — 今とこれから —

2025 **11/1** **土**
10:30～16:30

■会 場 新潟青陵大学

■主 催 新潟青陵学会

プログラム

● 基調講演 / 10:40～12:15

「今、伝えたい～それぞれのダブルケア～」

講 師：東 恵子 一般社団法人ダブルケアサポート 代表理事

● ポスターセッション(研究報告・活動報告) / 13:15～14:50

● シンポジウム / 15:00～16:30

「ダブルケアから考えよう 支え合うまちづくり」

～ひとりでやらない 子育てと介護のダブルケア～

● 「ダブルケアの研究から～ダブルケアラー支援への提言～」

シンポジスト：山下 順子 ブリストル大学(英国) 社会・政治・国際学研究科 上級講師

● 「ダブルケアや介護に悩む女性に安心を届けたい！」

シンポジスト：車谷 道子 「歩み寄りの会」(新潟市内当事者の会) 代表

■ 学術集会長

坪川 トモ子

新潟青陵大学看護学部 教授



参加申込

◆事前申し込みは不要です。
当日、直接受付においでください。

ポスターセッション申込

7月31日(木)締め切り

◆詳しくは学会HPをご覧ください。

参加費 | 学会員、本学大学生、本学大学院生 / 無 料
非学会員：一 般 / 1,000円、大学生・大学院生 / 500円



■お問い合わせ

新潟青陵学会
第17回学術集会事務局

〒951-8121 新潟市中央区水道町1丁目5939番地
TEL: 025-266-0127(代表) FAX: 025-267-0053(代表)
E-mail: conf2025@n-seiryo.ac.jp
ホームページ: <https://www.n-seiryo.ac.jp/gakkai/>
電話受付時間: 8:30～17:00(土日祝日・休業日は除く)

子育てと介護のダブルケア ー今とこれからー

皆さんは、子育てと介護を同時にするダブルケアをご存じですか？

少子高齢化と晩婚・晩産化を背景に、子育ての終了を待たずに親らの介護に直面するという、育児と介護をひとりの人が同時期に担う「ダブルケア」が新たな社会的な問題として注目されています。「ダブルケア」とは、横浜国立大学大学院の相馬直子先生、英国ブリストル大学の山下順子先生によって2012年に研究された際に創られた言葉です。ダブルケアは、突然始まることが多く、ですが、ダブルケアということに気づかないまま経過している場合もあります。

なぜ、ダブルケアは困難なのか。医療、保健、福祉の分野でご活躍している会員の皆様、そして、将来、同じ分野の専門職を目指している学生の皆さんに、ダブルケアのリアルを知っていただき、ダブルケアラーの方々への支援を、そして、ダブルケアを社会の問題としてどのように考えていったらよいかを一緒に考えたいと思います。

また、本学術集会ではポスターセッションの場を設け、研究報告はもちろん、実践の場における活動報告もしていただけるようにしました。会員の方々が携わっている各種活動をご報告いただき、交流を深め、つながりを創る機会にもしていただきたいと思います。

講師紹介

◆基調講演 講師：^{あずま けいこ}東 恵子 一般社団法人ダブルケアサポート 代表理事

出産を契機に独自で子育て情報発信に取り組む中、青少年支援に取り組んでいた組織、シャーロックホームズと出会い、本格的に子育て情報発信事業を立ち上げ、2008年NPO法人化、2013年理事長に就任。ダブルケア調査研究には開始当初（2012年度）から関わっており、横浜からはじまったダブルケア支援を全国へ普及させるため、2016年9月に（一社）ダブルケアサポートを設立し代表を務める。

◆シンポジスト：^{やました じゅんこ}山下 順子 ブリストル大学(英国) 社会・政治・国際学研究科 上級講師

専門は比較社会政策、社会学とジェンダー。主な著作に、Liu J. and Yamashita, J.(eds.) (2020) 'Routledge Handbook of East Asian Gender Studies', London; Routledge, 『一人でやらない育児・介護のダブルケア』(2020年、相馬直子と共著、ポプラ社)『なぜダブルケアは困難なのかー社会学的葛藤理論からの考察』『岩波講座社会学第9巻福祉・社会保障』(2025年、相馬直子と共著、岩波書店)など。

◆シンポジスト：^{くるまたに みちこ}車谷 道子 「歩み寄りの会」(新潟市内)代表

2021年11月に「歩み寄りの会」を設立。自身は発達障害児ママであり祖母の介護を約10年間続けている。過去の自分のようにダブルケアや介護に悩む女性に安心を届けたい!という思いからこの団体を立ち上げた。会は、2か月に1回の土曜にダブルケアカフェの定期開催はじめ、相談支援事業、講演会・講座・ワークショップなどの企画運営事業、ホームページやFacebookなどから「ダブルケア」に関する情報を発信している。